

授業科目(ナンバリング)		栄養教育実習 (QC423)		担当教員 担当形態		高江洲、乙須、浦郷 複数				
教員免許状取得 のための選択の別	栄養教諭:必修		単位数	1単位	開講 年次	4年	展開 方法	実習	開設 時期	集中
科 目	教育実践に関する科目									
各科目に含める ことが必要な事項										
授 業 の ね ら い									アクティブ ラーニング の 類 型	
小・中学校における具体的な栄養教育実践を通じて、児童生徒の食問題の実態を捉え基本的な指導方法を理解するとともに、栄養教育に関する専門的な知識との融合を図る。また、実際に教壇に立って教えることで、生徒理解を深め、栄養教諭としての自覚や資質、能力や姿勢、態度などを修得する。									⑦	
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・ 方法		評価 比率		
専門力	・栄養教諭に必要な思考法・判断力について実際の学校現場で学び、その経験を栄養教育に関する専門的な知識と関連させながら説明することができる。					栄養教育実習日誌		20%		
情報収集、 分析力	・栄養教育実習での教育実践を通して、児童生徒の食問題の実態を捉え、栄養教諭の基本的な指導方法を修得することができる。					教育実習成績評価票		20%		
コミュニケーション力	・児童生徒とコミュニケーションを図ることができる。					教育実習成績評価票		20%		
協働・課題解決力	・作成した学習指導案に基づき、一方通行ではない双方向型の授業を成立させることができる。					教育実習成績評価票		30%		
多様性理解力	・授業中や授業外での観察や児童生徒とのふれあいの中で、様々な児童生徒に対する理解を深めることができる。					栄養教育実習日誌		10%		
出 席						受験要件				
合 計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
「栄養教育実習日誌」を30%、「その他（教育実習成績評価票 [実習校による評価]）」を70%の割合で評価する。										
授 業 の 概 要										
<p>栄養教育実習の授業は、実習校における栄養教育実習を中心に行われるが、年度はじめの教職オリエンテーションなどの説明会や「事前・事後指導」の授業と緊密な連携を取りながら、実施される。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>										
教 科 書 ・ 参 考 書										
<p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：別府 昭郎（監修）、寺崎 昌男、黒澤 英典（2009）『教育実習 64 の質問』学文社。</p> <p>指定図書：別府 昭郎（監修）、寺崎 昌男、黒澤 英典（2009）『教育実習 64 の質問』学文社。</p>										
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と										
<p>栄養教育実習に臨むに際して、教材研究に熱心に取り組み、児童生徒に何を伝えたいのかを明確にして有意義な栄養教育実習を遂行してほしい。そのために専門的な知識の修得を怠らず、実習先の先生方との事前のコミュニケーションを図るなど、よりよい授業の実施に向けて熱心に取り組んでほしい。実習期間は1週間と短い、児童生徒と接する時間を多くとり、積極的に児童生徒の中に入ってもらいたい。</p>										